

31万人 元気都市四日市へ!!

第37号

森 ともひろ通信



あなたは 4 1 8 6 3 1 人目の読者です。

43歳 四日市市長

■新型コロナウイルス感染症に負けない四日市に!

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの市民、事業者が厳しい状況に直面しています。これまで四日市市は、生活支援、事業者支援に自主財源（財政調整基金等）を積極的に活用し、様々な対策を打ち出してきました。そして、直近でも「子育て世帯向け追加給付金」、「給付型奨学金枠の拡大」等の生活支援策、「テナント賃料支援事業補助金」、「中小企業等地域経済応援支援金」等の事業者支援策を実施しています。

更に今後、市独自の大型の経済対策を実施し、地域経済の活力創出に取り組んでいきます。

加えて、ポストコロナを見据え、未来に向け魅力溢れる持続可能なまちづくりを着実に進めています。今、四日市市では様々なプロジェクトが動き出しています。これらのプロジェクトを確実に前に進め、本市の発展に活かしていきます。

①【中心市街地再開発プロジェクト】「バスタ四日市」が新規事業化

現在、四日市市は、2027年の整備完了を目標に、近鉄四日市駅周辺からJR四日市駅までの中央通りを中心エリアとした『中心市街地再開発プロジェクト』を進めています。

その核となる事業が、令和3年3月に国から新規事業化が発表された『バスタ四日市』です。『バスタ四日市』の整備により、近鉄四日市駅周辺3ヵ所に分散しているバス乗り場が1ヵ所に集約され、バス利用の利便性向上、交通結節点としての機能強化が図られることとなります。『バスタ四日市』は、中央通りの車線を片側3車線から2車線に減らし、北側に出来たスペースを活用し近鉄四日市駅の東口から国道1号線までの間に整備されます。

また、近鉄四日市駅の東口、西口にペDESTリアンデッキを設置し、駅から直接中央通り横断が出来るようにし、駅周辺の回遊性を高めます。そして、ペDESTリアンデッキで近鉄四日市駅と『バスタ四日市』を接続し、電車、バス等の公共交通の連携強化に繋がります。



また、国道1号線からJR四日市駅（四日市港）のエリアを「ガーデンエリア」「ハーバーエリア」と位置付け、人が集い、憩える空間とし、JR四日市駅周辺の活性化、現在、四日市港で進められている「みなとまちづくり構想」との連携に繋がっていきます。

四日市市の中心部では約30年ぶりのビックプロジェクトになります。四日市の魅力を最大化出来るまちづくりを進めていきます。

②【北勢バイパス】令和6年度に国道477号バイパスまでの開通見通しを発表

令和3年4月に、国土交通省中部地方整備局から、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」が示され、その中で国道1号『北勢バイパス』における「市道日永八郷線～国道477号バイパス」間の令和6年度の開通見通しが発表されました。『北勢バイパス』の整備により、市内中心市街地へのアクセスの改善や慢性的な渋滞が発生している国道1号、国道23号の渋滞緩和、さらに沿線への民間投資の促進が期待出来ます。

③【【四日市港】「霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業」が新規事業化

国土交通省が「四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業」の新規事業化を3月に発表し、今年度から霞ヶ浦地区北埠頭81号岸壁の整備が始まりました。四日市港では初めてのコンテナ船用の耐震強化岸壁等の整備となります。これにより、コンテナ貨物量の増加や船舶の大型化への対応が図られ、地域産業の競争力強化やサプライチェーンの強靱化に資する港湾機能の強化に向けて大きく前進することになります。

④【新図書館】スターアイランド跡地を候補に関係者と協議を継続

中心市街地への新図書館整備に向けて、候補地を「スターアイランド跡地」とし関係者との協議を継続しています。四日市市のシンボルとなり、市民の皆さんに愛される図書館づくりに全力で取り組んでいきます。ご期待下さい!

【東京2020オリンピック】本市ゆかりの選手7人が出場

「女子レスリング53kg級で向田選手が金メダル！」

日本のメダルラッシュに沸いた『東京2020オリンピック』に、四日市市ゆかりの選手が7人出場しました。

- 【男子マラソン】中村 匠吾 選手〔内部小学校、内部中学校卒業〕
- 【レスリング女子53kg級】向田 真優 選手〔泊山小学校卒業〕
- 【女子個人ロードレース】金子 広美 選手〔四日市市在住〕
- 【競泳男子4×100mリレー】難波 暉 選手〔四郷小学校、常磐中学校卒業〕
- 【男子バレーボール】西田 有志 選手〔海星高校卒業〕
- 【男子サッカー】旗手 怜央 選手〔FC四日市（現 TSV1973四日市ジュニアユース）出身〕
- 【陸上男子4×400mリレー】川端 魁人 選手〔四日市市在住〕

選手の皆さんの素晴らしいパフォーマンスに四日市市民は大きな勇気を頂きました。中でも『女子レスリング53kg級』に出場した 向田 真優 選手は、見事、金メダルを獲得しました。四日市市から初のオリンピック金メダリストが誕生しました！決勝では、鮮やかな大逆転勝利を収め、多くの国民に感動を与えてくれました。向田選手には輝かしい功績をたたえる「四日市市スポーツ特別栄誉賞」をお贈りしました。今後の益々の活躍を期待します。



【安心・安全】千葉県市原市と『災害時相互応援協定』を締結



本市では、同時被災する可能性の低い自治体との災害時相互応援協定を推進してきており、これまでに7つの自治体と協定を締結しています。そして、この度、新たに千葉県市原市と『災害時相互応援に関する協定』を締結しました。

市原市は、人口が27万人と本市と同程度で、大都市近郊の石油コンビナートを有する港湾都市であり、まちの特性も本市と類似していることから、多くの点での連携が期待出来ます。以前から、親交のある市原市の小出市長からの申し入れを受け、今回の協定締結となりました。

また、市原市とは、東日本大震災で発災したコンビナート火災の際に、本市から緊急消防援助隊としてコンビナート対応部隊が応援出動したという繋がりがあります。

【新型コロナワクチン接種】12月から3回目の接種が開始

新型コロナウイルスのワクチン接種は、順調に進んでおり、11月末頃には対象人口の83%を超える方への2回目の接種を終える見込みとなっています。また、2回目の接種から8ヵ月が経過した方を対象に、12月から3回目の接種を予定しています。対象者には順次接種券を発送します。

詳細は、市のHPでご確認下さい。



■約11ヵ月振りに駅立ち・街頭演説を再開！

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で休止していた駅立ち・街頭演説を令和3年11月から約11ヵ月ぶりに再開しました。平成22年9月21日から始めた朝の駅立ちは、10年を超え、令和2年12月21日の近鉄北楠駅で701日目を迎えています。

駅立ち・街頭演説は政治家 森 智広 の活動の原点です。原点を忘れることなく、積極的に市民の皆さんに市政情報及び、自らのメッセージを届け、皆さんと共に四日市市の政治を進めていきます。



森 智広 プロフィール

学 歴
平成6年 西陵中学校 卒業
平成9年 四日市南高校 卒業
平成13年 立命館大学 理工学部 卒業
平成23年 早稲田大学大学院公共経営研究科 修了

職 歴
平成15年 中央青山監査法人 入所
平成18年 あらた監査法人 入所
平成19年 公認会計士登録
平成21年 プライスウォーターハウスクーパース株式会社 事業再生/再編グループ 出向
平成22年 あらた監査法人 退所
平成23年 四日市市議会議員選挙にて、5,493票の負託を受けてトップ当選〔現役最年少〕
平成25年 税理士登録
平成27年 四日市市議会議員選挙にて、5,852票の負託を受けてトップ当選
平成28年 四日市市長選挙にて、46,051票の負託を受けて当選
令和2年 57年振りの無投票で 四日市市長選挙2期目当選。

【役職】

- 三重県市長会 副会長
- 三重県後期高齢者医療広域連合 副連合長



継続的に市政情報発信しています！
森ともひろブログ

森ともひろブログ 検索